せんだい支えあいのまち推進プラン個別事業評価　記入例

事業番号	事業名	事業内容	令和5年度実績(初年度評価) 評価	評価	評価の理由	課題と次年度の取り組み方針	決算額	令和6年度実績 評価	評価	評価の理由	課題と次年度の取り組み方針	決算額(千円単位)	担当局	担当課
1.多様性を認めあい、社会とつながる環境づくりの推進														
1.共生の意識を高める取り組みの推進														
7	地域福祉セミナー	地域福祉への理解を深めることを目的に、幅広い市民を	事業実施	A	コロナ禍のため、定員を制限したうえで、事業を実施し●●●人が参加した。地域福祉の課題等について参加者へ情報提供することができ、事業が概ね進捗した。 【根拠】 令和4年度の参加者　●●●名 **令和3年度の参加者　●●●名**	【課題】 コロナ渦により、定員等が制限されており、参加者への情報提供の場が限られている。 【取り組み方針】 開催にあたっては、会場に参集する形のみでの実施をだけでなく、動画配信等のコンテンツを充実させて、発信の強化を行う。	200	事業実施	A	セミナーを予定通り、実施し、昨年を上回る、●●●人が参加した。地域福祉の現状について幅広く情報提供することができ、事業が着実に進捗した。 【根拠】 令和5年度の参加者　●●●年 令和4年度の参加者　●●●年 (令和6年度アンケート結果:とても参考になった●●%、参考になった●●%)	【課題】 多様な市民への参加を促しているが、参加者の属性に偏りがある。 【取り組み方針】 地域福祉への理解を深めてもらうため、多様な主体を引き込んでの開催ができるよう、幅広い参加者を募るための効果的な方策を検討する。	210		仙台市社会福祉協議会
			課題への取り組み	A	前年度の「課題」に対しての取り組み状況について記載。			課題への取り組み	A	コロナウイルスの影響で情報提供の場が制限されているという課題に対し、令和●年度からは、セミナーの動画配信を開始し、オンライン上で●●●名の参加があり、情報発信の強化を進捗することができた。				
			連携への取り組み	B	セミナーの実施にあたっては、各関係機関と内容を協議するなど、必要な連携を行っているが、事業効果を高めるため、連携先の拡充を検討しているため。 【主な連携先】 社会課、地域包括支援センター連絡協議会、市連町会、市民児協 【新たに拡充した連携先】 なし	【連携に関する課題(連携の必要性)】 連携先が固定化しており、新たな連携先を拡充する必要がある。 【連携の課題に対する取り組み方針】 事業実施にあたり、既存の連携先だけに留まらず、新たな連携先のアプローチを行う。		連携への取り組み	A	事業実施にあたり、既存の連携先だけに留まらず、新たな連携先のアプローチを行い、関係の拡充を図ることができた。 【主な連携先】 社会課、地域包括支援センター連絡協議会、市連町会、市民児協 【新たに拡充した連携先】 NPO法人●●(新規) 社会福祉法人〇〇(強化)	【連携に関する課題(連携の必要性)】 新たに拡充した連携先を含め、連携先との連携の強化を進め、一層の事業充実に努める必要がある。 【連携の課題に対する取り組み方針】 連携先との連携強化を進めるため、地域福祉に関するワーキングを開催する。			

基盤計画等で定めている具体的な目標値や、過年度の実績など事業実施の評価の根拠となる数値を記載。
過年度の実績については、**評価対象年度の前年度実績についてもご記入ください。**
令和2年度実績について未記入の際は、ご記入ください。

【例】
令和●年度～●年度の利用者数の
年間平均を30,000人以上に増加させる。

連携先について【主な連携先】と【新たに拡充した連携先】について記載

端数は切り捨てでご記入ください。

課題への取り組み

前年度記載の課題に対しての取り組み状況を評価していただきます。
課題への取り組み評価の根拠となる数値についてもご記入ください。

連携への取り組み

【評価】
部署外との連携不要、もしくは、現在において連携先がなく、N/Aと回答いただいた際には、今後の連携の必要性について【連携に関する課題(連携の必要性)】にご記入ください。

自己評価

評価の目安に基づき、①【事業実施】、②【課題へ取り組み】、③【連携への取り組み】の3点について、
それぞれの観点からの自己評価をお願いします。

【評価の目安】
下記の目安に基づき、S・A・B・C・Dで記入してください。

①【事業実施の評価】・・・【事業】
★事業の実績や成果、進捗を評価してください。
　諸事情（コロナ禍の影響など）により事業未実施の場合は、N/Aを選択してください。
<S>　数値目標や事業実施による獲得目標（効果や状態）を上回る成果を得た（※）
<A>　数値目標や事業実施による獲得目標（効果や状態）を概ね達成した
<B>　数値目標や事業実施による獲得目標（効果や状態）を一定程度達成した
<C>　数値目標や事業実施による獲得目標（効果や状態）を下回った
<D>　数値目標や事業実施による獲得目標（効果や状態）を大きく下回った
<N/A>事業未実施の場合、選択。
※前年度までに達成した目標と同じ目標を設定していた場合、目標を上回る成果を得た場合でも評価はＡとしてください

②【課題への取り組みの評価】・・・【課題】
★前年度、事業の課題としていた事柄に対する取り組み状況を評価してください。
　諸事情（コロナ禍の影響など）により事業未実施の場合は、N/Aを選択してください。
<S>　課題に取り組み、解決が図られた
<A>　課題に取り組み、解決に向けて想定する成果を得た
<B>　課題に取り組み、一定の成果を得た
<C>　課題への取り組みについて、課レベル以上で検討したが組織内に留まる
<D>　課題への取り組みは行っていない
<N/A>事業未実施の場合、選択。

課題と次年度の取り組み方針

【課題】
解決が必要な現在の具体的な事業に関する課題を記入してください。

【取り組み方針】
現在の課題に対して、次年度、どのような取り組みを行っていくか、今後の方針についてご記入ください。
⇒翌年度、前年度記載の課題に対しての取り組み状況を評価していただきます。

【連携に関する課題(連携の必要性)】
連携に関しての課題がある場合、記入してください。
連携の課題がない場合には、十分に取り組まれている
根拠についてご記入ください。

【連携の課題に対する取り組み方針】
連携に関する課題に対して、次年度どのような取り組みを行っていくか、今後の方針についてご記入ください。

新規・追加事業の評価について

令和6年度に事業を実施している場合は、他の事業と同様に評価を記入ください。
令和6年度は未実施の場合は、N/Aと回答いただき、【課題と次年度の取り組み方針】のみご記入ください。

③【連携の取り組みの評価】・・・【連携】
★庁内外との連携の取り組み状況について評価してください。
　部署外との連携が不要の事業はN/Aを選択してください。
<S>・相互に主体的な協力関係ができており、常に事業の充実が図られている
　・連携の拡充（既存の連携の強化または連携先の新規開拓）により、十分に〇〇することができるようになった
<A>　連携の拡充により、〇〇することができるようになった
<B>　連携の拡充により、一定程度〇〇することができるようになった
<C>　〇〇することができるように連携拡充の取り組み（関係先への働きかけ等）を進めた
<D>　事業実施において〇〇することができるように連携の拡充を図る必要があるが、特に取り組みはしなかった
<N/A>部署外との連携が不要、もしくは、現時点で連携先がない場合に選択。